17松病経第 619 号
平成 29 年 6 月 20 日

地域医療構想をふまえた
松阪市民病院の在り方検討委員会
委員長　末永　裕之　　様

松阪市長　竹上　真人

地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方について(諮問)

地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方検討委員会設置要綱第 2 条の規定に基づき、次のとおり諮問いたします。

1　諮問事項
(1)地域医療構想をふまえた松阪市地域医療体制の分析
(2)松阪市民病院の最適な経営形態に関する調査分析
(3)松阪市民病院の今後の在り方に対する検討

〔諮問理由〕

急速に進む少子高齢社会にふさわしい地域医療体制の構築をめざした、地域医療構想が各都道府県で策定され、松阪区域地域医療構想においても、将来に向けた医療提供体制の方向が打ち出されています。

また、現在の公立病院では、新公立病院改革プランにおいて、これまでの経営の効率化、再編・ネットワーク化、経営形態の見直しに加え、地域医療構想を踏まえた役割の明確化が求められているところです。

こうした医療を取り巻く社会情勢において、当院のように急性期医療と地域医療の両方の機能を持つ公立病院が、双方の橋渡しをしながら、地域住民の安心を担保していくことが求められるなか、現在の医療を取り巻く厳しい環境に対応していくためには、地域の医療体制を把握分析するとともに、地域医療構想に立脚した経営形態の在り方についても検討すべき状況にあります。

このような現状と課題を踏まえ、市民病院としてのあるべき姿、役割や機能、運営形態などについて、市民にとってより良い医療体制や市民病院の方向性、将来像について諮問を行うものです。